

六花

令和8年2月20日
新潟市立新関小学校 学校だより 2月号
〒956-0825 新潟市秋葉区下新766
TEL : 0250-22-0995 FAX : 0250-22-6529
題字: 中村 白香

令和7年度後期(最終)学校評価について

前期同様に、12月に実施した学校評価アンケートをもとに、新関小学校が大切にしてきた4つの視点(下記「教育ビジョン1～4」)で教育活動を振り返り、次年度の方針に生かしてまいります。

目指す学校像
自信あふれる
しあわせ新関小学校

新津第五中学校区のめざす子どもの姿
Akihaを愛しつながりががやき
未来(あした)を創る子ども

教育目標 明るくのびる元気な子

重点目標 新関を愛し新関を誇りにし社会の中でよりよく生きるための基礎的な力を育む

2 認め合う力

○自分や仲間のよさを見つける子

ほかほかプロジェクト
・縦割り班活動、全校体育の実施
・UDL、合理的配慮の充実

指標: 友達の良いところを見つけたり、友達が落ち込んでいるとき励ましたりしています【あてはまる65%(37人)以上】

1 思考する力

○人・もの・ことに関わりながら考える子
○自分に合った学び方を見つける子

じっくりプロジェクト
・根拠をもとに考える対話的な学習の展開
・自らの学習を選択できる環境づくり

指標: 人の考えを聴いて、問題を解く方法や考えを表す方法を決めています【あてはまる65%(37人)以上】

3 挑む力

○めあてに向かって取り組む子 わくわく

わくわくプロジェクト
・「わくわく」を企画する
学級会・委員会の実施
・「がんばり」を振り返る
時間の設定

指標: 学習や生活のめあてをもって、毎日過ごしています【あてはまる65%(37人)以上】

4 ふるさと新関を愛する子

○コミュニティスクールとパートナーシップ事業の一体的推進
生活科・総合的な学習を中核とした地域協働学習の充実
しんせきなかよし大作戦/新関お宝探検隊/新関すてき発信局

指標: 低・中学年: 地域のことにふれたり調べたりする学習は好きです【あてはまる65%(28人)以上】
高 学 年: 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあります【あてはまる65%(8人)以上】

学校をつくるパートナー

- ◇保護者、祖父母の皆さん ◇学校運営協議会 ◇しんせき児童クラブ ◇新関コミュニティ協議会
- ◇新関小サポーターズ ◇秋葉区学校支援会 ◇安心安全見守り隊
- ◇新関ブロック青少年育成協議会 ◇民生児童委員 ◇交通安全協会 他

指標: 【あてはまる、ややあてはまる、あまりあてはまらない、あてはまらない】の4段階で児童の自己評価

1. 思考する力:根拠をもとに考える対話的な授業づくり

手立て①友達の考えの根拠を意識して聴いたり、自分の考えも根拠をもとにして伝えたりする対話的な授業づくりをする。

手立て②課題解決の方法や考えの表現の仕方について、考えを聴き合って見通しをもたせ、児童が自己決定する場面を設定する。

手立て③自分や自分たちで決めた方法でやってみて、「良かったこと」を振り返らせる。

◆評価(アンケート結果による達成基準)◆

児童アンケート(2)「人の考えを聴いて、問題を解く方法や考えを表す方法を決めています。」

【指標:あてはまる 65%(37人)以上】



評価： A 【あてはまる 70.7%(41名)】（前期より10名増）

◆手立て等に関連するアンケート結果の数値◆

※口囲みは上記評価アンケート項目

対象	重点項目	数=%	R7.12				R7.7			
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
児童	1	(2)人の考えを聴いて、問題を解く方法や考えを表す方法を決めています。	70.7	20.7	8.6	0.0	53.4	41.4	5.2	0.0
児童	1	(3)自分や自分たちで決めた方法でやってみて「良かったこと」をふり返っています。	46.6	44.8	8.6	0.0	69.0	27.6	3.4	0.0
児童	1	(14)時や場、相手にあった言葉づかいをしています。	63.8	25.9	6.9	3.4	60.3	34.5	3.4	1.7
児童	1	(15)相手の話を聞いたり、自分の気持ちを伝えたりできます。	48.3	44.8	6.9	0.0	70.7	29.3	0.0	0.0

★次年度に向けた結果の考察★

仲間との対話による「根拠⇄自己決定」の過程を大切にしたい課題解決型の授業を目指してきた、新関小の授業づくりの効果が数値に現れたものと考えます。次年度は「思考する力」の更なる向上のために、子どもたちが課題解決のための道筋を意識できるような手立てを講じていこうと考えています。例えば、課題の解決に向け、ペアワークやグループワークといった対話の中で型（ワークシート等）を示し、手順に沿って思考させることで、考えることを焦点化させたり、思考の手順を意識化させたりしていきます。そして「振り返り」「自己評価」を行うことで、課題解決のための思考の過程である思考する力を身に付けていきます。

2. 認め合う力:自分や仲間のよさを見つける子の育成

手立て①全校縦割り班を組織し、年間を通して様々な活動を行い、互いのよさや頑張りを認め合ったり、称賛し合ったりする場（振り返り）を意図的に位置付けることによって、支持的な風土を醸成する。

手立て②iPadの活用など、個に応じた学び方を選択できるようにし「できる」「分かる」という自信をもつことができるようにするとともに、他の選択を互いに認め合えるようにする。

手立て③全校体育を年4回実施し、教え合ったり励まし合ったりする場を設定する。

◆評価（アンケート結果による達成基準）◆

児童アンケート（10）「友達のよいところを見つけたり、友達が落ち込んでいるときに励ましたりしています。」

【指標：あてはまる 65%（37人）以上】



評価： A 【あてはまる 72.4%(42名)】（前期より4名増）

◆手立て等に関連するアンケート結果の数値◆

※口囲みは上記評価アンケート項目

対象	重点項目	数=%	R7.12				R7.7			
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
児童	2	(1)自分にあった方法や友達と協力して学習することで自信をもって学習できます。	63.8	29.3	6.9	0.0	70.7	29.3	0.0	0.0
児童	2	(4)学習する際にiPadを効果的に使っています。	62.1	36.2	1.7	0.0	77.6	22.4	0.0	0.0
児童	2	(5)友達や先生から、自分のよさやがんばりを認めてもらうことがあります。	70.7	25.9	3.4	0.0	63.8	36.2	0.0	0.0
児童	2	(10)友達のよいところを見つけたり(友達が落ち込んでいるとき)励ましたりしています。	72.4	27.6	0.0	0.0	65.5	32.8	1.7	0.0
児童	2	(13)自分には、よいところがあります。	58.6	34.5	6.9	0.0	79.3	12.1	8.6	0.0
児童	2	(17)全校体育で、仲間と認め合ったり励まし合ったりしています。	75.9	20.7	3.4	0.0	63.8	34.5	1.7	0.0

★次年度に向けた結果の考察★

多様性を認め、共生する世の中を創ることは、今後、増々大切になります。だからこそ、新関小は人と関わる教育活動や対話的な授業づくり、そして色々な視点・考え方から課題を解決していく課題解決型の授業を目指しています。後期の評価では、全校ハイキングやタイムレース、文化祭・わくわく体験活動、ビックスカイフェスティバルといった仲間との関わりを大切にされた教育活動により、全校の子どもたちが指標とするアンケートにおいて、肯定的な評価をしています。次年度は、それぞれの教育活動において、グループワーク等で仲間や周囲の大人からのフィードバックの場を設け、意図的にポジティブな評価を行う時間を大切にしていきます。

3. 挑む力:めあてに向かって取り組む子の育成

手立て①「新関スタンダード」をもとにした月別生活目標について、具体的に取り組むことを学級で話し合い実践する。

手立て②委員会活動では、全校で楽しめる企画を各委員会が年1回以上計画し、実施する。

手立て③委員会や学級活動において、頑張りを振り返る場を設定する。

◆評価（アンケート結果による達成基準）◆

児童アンケート（9）「学習や生活のめあてをもって毎日を過ごしています。」

【指標：あてはまる 65%（37人）】



評価：B【あてはまる 44.8%（26名）】（前期より10名減）

◆手立て等に関連するアンケート結果の数値◆

※口囲みは上記評価アンケート項目

対象	重点項目	数=%	R7.12				R7.7			
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
児童	3	(9)学習や生活のめあてをもって毎日を過ごしています。	44.8	48.3	5.2	1.7	62.1	36.2	1.7	0.0
児童	3	(16)学級会で決めためあてに向かって行動しています。	50.0	44.8	5.2	0.0	69.0	29.3	1.7	0.0

※別表

対象	重点項目	数=%	新関小				新潟市			
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
児童	3	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。	63.8	27.6	5.2	3.4	44.9	40.3	12.1	2.6

★次年度に向けた結果の考察

評価の指標としているアンケート項目の結果からは教育活動の効果はみられませんでした。「毎日」というアンケート内の言葉をしっかり子どもたちが自己評価したようです。上記の「手立て」の3つを、どのように日々の生活へ繋げていくかが課題のようです。しかし、新潟市が毎年11月に実施する生活・学習意識調査において「挑む力」に関連するアンケート項目（別表）で、「あてはまる」と回答した割合が市全体より約20ポイントも高いのです。この数値は昨年度の新関小の42.9%との比較でも同様の結果です。次年度に向け、学校、学級といった集団での目標設定・振り返りに加え、個別での場の設定を意図的に行います。

4. ふるさと新関を愛する子:コミュニティスクールとパートナーシップ事業の一体的推進

手立て 生活科・総合的な学習を中核とした地域協働学習を充実させる。

低学年：「しんせきなかよし大作戦」 中学年：「新関お宝探検隊」 高学年：「新関すてき発信局」

◆結果（アンケート結果による達成基準）◆

低・中 児童アンケート (8) 「地域のことにふれたり調べたりする学習は好きです。」【指標:あてはまる 65% (28人)】
 高 児童アンケート (8) 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。」【指標:あてはまる65% (8人)】



低・中 72.7%(32名) 高 35.7%(5名) (前期より全校で1名増)

◆手立て等に関連するアンケート結果の数値◆

対象	重点項目	数=%	R7.12				R7.7			
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
児童	4	(6)地域の人にあいさつをしたり言葉をかわしたりしています。	74.1	24.1	1.7	0.0	81.0	13.8	5.2	0.0
児童	4	(8)町探検をして、いろいろな人にあたり、お店や公園の様子を調べたりする学習は好きです。(低)	82.4	11.8	0.0	5.9	88.2	5.9	5.9	0.0
児童	4	(8)地域のこと(自然・歴史・産業)にふれたり、調べたりする学習は好きです。(中)	66.7	18.5	14.8	0.0	70.4	29.6	0.0	0.0
児童	4	(8)地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあります。(高)	35.7	28.6	28.6	7.1	14.3	57.1	28.6	0.0

★次年度に向けた結果の考察★

地域教育プログラムにより、地域の方々との学習を通して、子どもたちが地域の人やものに関わることの「よさ」を実感できるような働き掛け、つまりは郷土愛の育成に努めています。学校運営協議会が立ち上がったことから分かるように、地域の中の学校、地域との絆の強い学校を国も求めています。そして、この考え方は伝統的に新関小の基盤となっています。今後は充実している地域教育プログラムをベースにし、今年度の教育活動の振り返りと次年度の方向性について、学校運営協議会において CS 委員と学年担任が協議・検討していきます。

主な学校の予定

【 2月 】

27日(金) 6年生を送る会

【 3月 】

- 2日(月) 全校朝会
- 4日(水) 1年 新1年生との交流会
- 5日(木) 地域子ども会
- 12日(木) 卒業式予行練習
- 16日(月) 4時間授業
- 17日(火) 4時間授業 給食最終日
- 18日(水) 後期終業式 卒業式練習・準備
- 19日(木) 第79回卒業証書授与式
- 20日(金) 【祝日】春分の日
- 24日(木) 離任式



【 4月 前半 】

- 7日(火) 新任式 前期始業式
- 8日(水) 入学式
- 9日(木) 1年3時間授業
2～6年4時間授業 給食開始
- 10日(金) のびのび健診
1年3時間 2～6年4時間
- 13・14日 1年3時間 2～6年5時間
2～6年NRT 学力テスト
- 15日(水) 1年給食開始
- 17日(金) 地域子ども会 見守り隊面識会
集団下校

【2月のめあて】

正しい
言葉づかいをしよう

- ◇ 友だちを「〇〇さん」と呼ぶ
- ◇ 「です ます」を使って丁寧に話す
- ◇ 時や場に合った言葉づかいについて考える
- ◇ 自分が言われてうれしい言葉をつかう

【3月のめあて】

心が温かくなる
言葉をかけ合おう

- ◇ 友だちを「〇〇さん」と呼ぶ
- ◇ 友だちに優しくする
- ◇ 友だちの気持ちを考えて声をかける
- ◇ 「ありがとう」を言う

